

茅ヶ崎同盟教会 教会学校だより

2009年度年間暗誦聖句 (こどもさんびか5番)

あなたがたは、神にえられたもの、聖なる、愛されているものであるから、あわれみの心、じあい、けんそん、にゆうわ、かんようを身につけなさい。

たがいにしのびあい、もしたがいにせむべきところがあれば、ゆるしあいなさい。主もあなたがたをゆるして下さったのだから、そのように、あなたがたもゆるしあいなさい。

これらいっさいのものの上に愛をくわえなさい。愛はすべてを完全にむすぶ帯である。(口語訳)

コロサイ人への手紙3章12～14節



2009年度教会学校だより春の号をお届けします。本年度は新たに青年科を加え14名の教師でみなさんといっしょに聖書を学んでいきます。本年度も幼稚科と小学低学年とは一緒に礼拝と分級を行います。小学生から成人科までは合同の礼拝です。この1年間みなさんよろしくお願ひします。さて春の号は学年

別のクラス紹介号です。

〔幼・小学低学年科〕

稲津悠紀(いなづゆき)・柏 真祈(かしわまき)・加藤ちぐさ(かとうちぐさ)・早坂美奈子(はやさかみなこ)・馬杉めぐみ(ますぎめぐみ) 奏楽アシスタント

今年の礼拝と分級の目標は、静(礼拝)と動(分級)の区別を子どもたちに認識させ、けじめをもって活動することです。いろいろな活動、たとえばビーチプレイデー、夏期学校、収穫感謝祭、クリスマスなどを通じて、新しい子どもを



C Sに結びつける。まめに手紙をだしてC Sへの出席をうながす。神さまを礼拝し、イエスさまの愛の仲で共に交わり、遊ぶことを心がけていきます。(稲津悠紀記)

〔小学科〕

稲津亜紀(いなづあき)・森本 成(もりもとおさむ)・安田雄子(やすだゆうこ)
レギュラーメンバーの3人が4年生になったので、分級で毎週やっているワークブックを下級生用から上級生用のものと変えました。かなり難易度が高くなったため、今までスラスラと解けていた子どもたちですが、嫌にならないでね。一方でやはり元気の有り余っている子どもたちですから、体を動かす遊びを月に一度幼稚科さんのお部屋と一緒にさせてもらうことになりました。そしてみんなの得意とする工作などは何週間かかけてじっくり制作するものやっけていく予定です。みんなが毎週、教会へ行くのが楽しみになるゆな分級にしていきたいなあと思います。(稲津亜紀記)

〔中・高科〕

大木怜子(おおきさとこ)・弓桁あずさ(ゆみけたあずさ)

担当は、今年もひきつづき、弓桁あずさ姉、大木怜子姉です。部活に、勉強に、とても忙しい中高生ですが、がんばって早起きして来てくれる子どもたちに、励まされています。そうやって来てくれる子どもたちが、何か少しでも心の中に、神さまによる愛のメッセージを感じて帰ることができたら、と祈りつつ毎週必死に準備しています。子どもたちのためになっているかは、わかりませんが私のためになっていることは確かです。今の私の大きな支えです。(大木怜子記)

〔青年科〕

川上みな子(かわかみみなこ)アシスタント教師

教会学校の中に今年から高校卒業生ないしはその世代のみなさんのためのクラスができました。本来は大人の礼拝に出席するのが望ましいのですが、それに抵抗ある青年やいろいろ疑問のある方のためのクラスです。教会学校の分級の時間に行っています。大人の礼拝への入口になればと練っています。小さい時からC Sに通われたみなさんが信仰へと導かれることを祈っています。どなたでもご参加をお待ちしております。(川上みな子記)

〔成人科〕

飯田純子(いいだすみこ)・川島正子(かわしままさこ)・古川盛弘(こがわもりひろ)

成人科です。今年も私と飯田さん、川島さん、3人でやっていくことになりました。学びについては教会学校で学んだことの復習をし、グローアップなどを使って生徒さんたちにもできるだけわかりやすく教えられるように、また固くならないよう、なごやかな雰囲気を進めていこうと思っています。讃美歌も1曲でも多く歌えるように参加者の落合さんの指導のもと、皆さんと共に学んでいこうと思います。今年に入らから不況などにより社会をとりまく環境が厳しくなり、なかなか分級に参加するのが難しいとは思いますが、1人でも多くの方が参加してくれるような分級クラスにしていきたいと思っています。

そして分級の心得として、主の御用のために働くことができる喜びをもって奉仕する。楽しい雰囲気の成人科にする。成人科に集まった方々が少なくとも1回は話をする機会をつくる。10時25分には終了し、大人の礼拝に出席する心の準備をする。このことを目標としています。(古川盛弘 記)

〔CS 聖歌隊〕

森本 成(もりもとおさむ)・安田雄子(やすだゆうこ)

毎週日曜日の朝8時30分より礼拝堂で練習をしています。讃美することが楽しくなります。神さまと一緒にいて下さり、喜んで下さっているとわかります。たくさんの讃美歌に出会えます。ちょっと早起きをして、是非参加して下さい。礼拝の前に一緒に神さまをほめたたえましょう。(安田雄子 記)

〔フリー〕

熊谷 徹(くまがいとおる) & 熊谷麗子(くまがいわいこ) 牧師夫妻

今年の教会学校の暗唱聖句は「コロサイ人への手紙」3章 12~14節です。この御言葉から3つのことを学びましょう。

第1は、「あなたは神様に愛されている」ということです。あなたは「神に選ばれた者、聖なる、愛されている者」(12節)なのです。神様はこうおっしゃっています；「わたしの目には、あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している」(イザヤ 43:4)。第2は、「優しくて心の強い人になりなさい」ということです。「深い同情心[あわれみの心]、慈愛、謙遜、柔和、寛容を身に着けなさい。互いに忍び合い、だれかがほかの人に不満を抱くことがあっても、互いに赦し合いなさい。主があなたがたを赦してくださったように、あなたがたも[そうしなさい]」(12~13節)。ひとことでいえば、「優しい心と強い心をもちなさい」ということです。第3は、「愛の人になりなさい」ということです。「これらすべての上に、愛を[着けなさい]。愛は結びの帯として完全なものです」(14節)。神様が私達に最も求めておられるのは愛です。「愛を追い求めなさい」(コリ 14:1)。

「慈愛、謙遜、柔和、寛容、忍耐、赦す心、愛」・・・これらはイエス様がもっておられたものです。イエス様は慈愛深く、謙遜で、心の広いお方でした。とても優しく、忍耐深いお方でした。イエス様は愛のお方でした。私達を愛して十字架に命までも捨てられたのです。このイエス様のように、人を思いやる心、優しく強い心、そして愛をもてるように、イエス様から目を離さないでいましょう。イエス様を見上げ、イエス様から愛をいただいて歩いて行きましょう。

(熊谷 徹 記)

〔教会学校のこれからの予定〕

6月21日 父母の日礼拝 午前9時より

みなさんのお父さんやお母さんをお招きして一緒に礼拝を行います。参加者プレゼントもあります。是非ご参加ください。

8月21～22日 夏期学校

本年度は、8月の第4週 21～22日に教会を会場として夏期学校を予定しています。教会に1泊して、聖書の学びやいろいろなイベントを企画しています。みなさまのご参加をお待ちしております。

編集後記 (May,26th.2009 Updated)



今期も、幼稚科の奏楽アシスタントを含め14名の教師陣で1年間を担当します。昨年に続き、またまた、教師の平均年齢は大幅上昇中です。話題のアラフォー・・・さらにはアラ還世代ですが元気だけが取り得です。今年は各分級での取り組み方や内容について、担当の教師に書いていただきました。教会のホームページにもこの教会学校だよりが掲載されますので是非ご覧ください。(森本)

